

神経因性大腸機能障害に対する治療を評価する「MENTOR ツール」の在宅環境での使用における有効性の検証

著者：Sofie Dagmar Studsgaard Slot、Simon Mark Dahl Baunwall、Anton Emmanuel、Peter Christensen、Klaus Krogh

序文

神経因性大腸機能障害（NBD）は、脊髄損傷（SCI）患者の最大 80% に発症することが報告されている¹。

「MENTOR（Monitoring Efficacy of NBD Treatment on Response 神経因性大腸機能障害に対する治療の有効性のモニタリング =MENTOR）ツール」は、NBD スコア、現在の治療に対する患者の主観的な満足度、特に注意を要する症状の 3 つの側面から評価するツールとして開発された。MENTOR ツールを使用して、これら 3 つの側面から統合的にスコアを算出すると、「信号機」の色を基盤とした 3 色いずれかの色が提示される。緑色（Monitor）は現在の治療が適切であること、黄色（Discuss）は治療が効果的でない可能性があるため患者との話し合いが必要であること、赤色（Act）は現在の治療を変更する必要があること、を示している²。

本試験の目的は、在宅療養を行う SCI 患者において、MENTOR ツールの結果分布を明らかにすることと、その結果分布と患者の日常生活状況との関連を明らかにすることである³。

方法

MENTOR ツールの項目と患者背景に関する項目を含む質問票を、デンマーク対麻痺協会に所属している全会員 1,316 名に郵送した。デンマーク対麻痺協会は、デンマークの SCI 患者の 35% 以上が登録している患者団体である。全会員に対し、質問票と回答の返信方法に関する依頼書を同封して一斉に郵送した。4 週間以内に回答が得られなかった会員には、質問票と共に回答への再案内を送付した。

結果

18 歳から 92 歳（中央値 61 歳）までの 716 名（54%）が質問票に回答し、そのうち、男性は 429 名（61%）、女性は 278 名（39%）であった。MENTOR ツールの結果は、定期的なモニタリングが推奨される緑色（Monitor）が 281 名（44%）、治療が十分でない可能性があり患者との話し合いが必要な黄色（Discuss）が 175 名（28%）、治療の変更が必要と考えられる赤色（Act）が 181 名（28%）であった（図 1）。

MENTOR ツールで黄色（治療が十分でない可能性があり患者との話し合いが必要）、または赤色（治療の変更が必要）の結果であったことは、回答者の年齢が高くなること（ $p=0.016$ ）と、仕事や社会活動に支障を来すこと（ $p<0.0001$ ）に関連していた（図 2）。

図 1 MENTOR ツールの結果

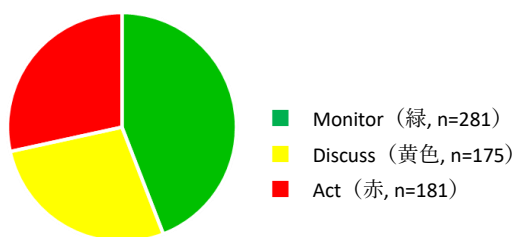
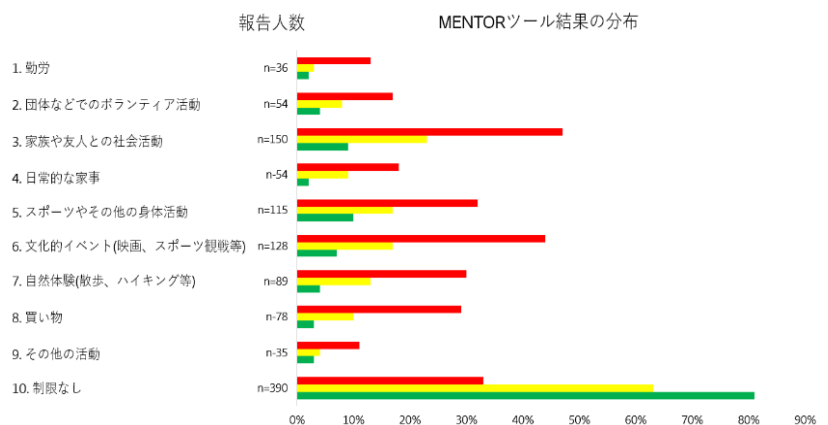


図 2 MENTOR ツールの結果と回答に基づく日常生活の制限



結論

在宅療養している SCI 患者の 28% が、現行の排便管理法が効果的でなく排便管理法の変更が必要と考えられる排便障害を有していた。また、現在の排便管理法が効果的でない可能性があり、治療法に関する話し合いが必要な患者は、全体の 28% であったことが明らかになった。

さらに、MENTOR ツールの結果は、NBD によって日常生活の活動が障害されることと相関性が見られた。

1. Coggrave M, Norton C, Cody JD. Management of faecal incontinence and constipation in adults with central neurological diseases (Review). Cochrane Database of Systematic Reviews 2014, Issue 1. Art. No.: CD002115.
2. Emmanuel A, Krogh K, Kirshblum S, Christensen P, Spinelli M, Kuppevelt D Van, et al. Creation and validation of a new tool for the monitoring efficacy of neurogenic bowel dysfunction treatment on response: the MENTOR tool. Spinal Cord
3. Dagmar, S., Slot, S., Mark, S., Baunwall, D., Emmanuel, A., Christensen, P., & Krogh, K. (2021). The Monitoring Efficacy of Neurogenic Bowel Dysfunction Treatment on Response (MENTOR) in a Non-Hospital Setting. Journal of Clinical Medicine